

# 東京都臨床検査技師会 平成24年度 第3回理事会議事録

日 時：平成24年6月20日（水）19時00分～20時30分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，宮崎，原田，高城，中西，水越，鈴木，工藤，土橋，蝶名林，石橋，大野，杉岡，三橋，多田，佐藤，松村，小山，東海林監事，遠藤監事，佐野役員選出委員

議長：下田

## 1. 行動報告（理事）

5月18日（金）	情報システム運営委員会	高城，鈴木
5月25日（金）	編集部会	高城，蝶名林，小松
5月28日（月）	学術部会	高城，中西，石橋，大野
5月31日（木）	渉外部会	原田，多田，佐藤
6月5日（火）	会計部会	鈴木，土橋
6月5日（火）	表彰選考委員会	千葉，小松，工藤
6月6日（水）	公益移行推進委員会	下田，千葉，小松，宮崎，原田，高城，中西，水越，鈴木，工藤，多田
6月6日（水）	監理会議	下田，千葉，小松，宮崎，原田，高城，中西，水越，鈴木，工藤
6月7日（木）	学会企画委員会	小松，高城，原田，鈴木，工藤，中西，大野
6月7日（木）	組織部会	杉岡，三橋，多田，松村，蝶名林，佐藤，高城，千葉
6月7日（水）	STI 予防委員会	原田，佐藤

## 2. 報告事項

1) 平成24年度第2回理事会議事録の内容確認

2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

・決算総会最終票報告

都臨技全体として81%を超える票が集まった。最終委任状票数 3179票

・組織部・学術部合同研修会について

本年度は4地区（多摩，南西部，北東部，中部）で開催とし内容に関しては学術部と打合せする。

・各地区で行われる健康まつりに関しては，幹事の変更があっても引き継がれるよう2名以上で担当することを要請した。

<東部地区> ・特になし

<西部地区> ・特になし

<南部地区> ・特になし

<北部地区> ・特になし

<中部地区> ・特になし

<多摩地区> ・多摩地区研修会

日時：7月6日（金）19時～

場所：三多摩労働会館 3階大会議室

内容：凝固検査の基礎と標準化について

講師：宮本和典氏（シスメックス株式会社）

<フォーラム委員会> ・委員会開催なし

【検討事項】

- ・学術部との合同研修に関して、6月28日と7月3日に堀場製作所にて学術合同企画“困らない夜間・休日検査のために“を各パートに切り分け拡張させた内容ではどうかという案について学術部へ打診する。

○渉外部

【報告事項】

<看護フェスタ 2012 について>

日時：平成24年5月13日（日） 10:30～16:30（開会12:00～）

場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

参加者：理事7名、幹事14名、一般9名 合計30名

来場者：血糖測定350人、骨密度500人、検査相談163名

【検討事項】

- ・幹事名簿および役割分担を確認
- ・学生対象講演について

期日：平成24年7月7日（土）14:00～16:10（受付13:30～）

場所：社会保険中央病院 4階講堂

テーマ：「臨地実習の意義と取り組み方」

講師：今年の卒業生 2名、臨地実習病院技師 1名、臨地実習病院技師長 1名

定員：150名

その他：講師について打診中

学校への案内送付は、6月11日頃に送付予定で締め切りは6月27日（水）とする

定員について例年200名募集し220名前後の参加であるが、今年は会場である社会保険中央病院が外装工事のため冷房が使用できない可能性がある。よって150名とし、申し込み状況によって最大200名まで可とする方針である。

- ・公開講演会について

今年度は、大学での学園祭に参加して公開講演及びSTI予防啓発を実施する予定。公開講演は、新宿さくらクリニック院長の澤村医師に打診中である。詳細については、大学の学園祭実行委員会が発足後、打ち合わせする。

○学術部

【報告事項】

- ・前回までは、各研究会の報告を会議中に報告していたが、今回からは報告書による報告に変更した。

- ・第9回東京都医学検査学会について

会期：平成25年2月17日（日）

会場：東医健保会館（信濃町）

学会長：小松京子 実行委員長：高城靖志

- ・研修会受付用PCについて

各研究班に配布した。管理マニュアルに沿って保管・管理すること。また、管理責任を明確にするため1年毎の更新とすることを各研究班に依頼した。

- ・研究班HPについて

都臨技HP上で各研究班HPが掲載可能となっているので活用してほしい旨を伝えた。

- ・決算総会について

平成24年5月30日（水）に決算総会が開催される。定款改定について審議するため全会員の4分の3以上の議が必要であり、書面評決票の回収に協力を要請した。

- ・会誌への掲載について（平成24・25年度幹事名簿）

会誌8月号に掲載するため誤字のチェックを依頼した。

- ・個人情報保護に関する誓約書の提出について

・日臨技生涯教育推進研修会について

年間 20 回の学術研修会について 1 研修会につき 5 万円の助成金が捻出される。収支報告を要するが、その経費は 5 万円以内でも構わない。日臨技の生涯教育研修会に申請を行い、決算報告は WEB 上で入力する。都臨技としては、受益者負担・共催を除く研修会を対象とし各研究班に 2 回ずつ割り当てることとした。

なお、日臨技で審査後に本登録となるので早めに申請することを推挙した。

・共催および協賛許可願書の提出について

開催日より 2 ヶ月前の理事会にて審議・承認がなされるよう、早めに準備をお願いしたい旨が伝えられた。

・会誌の特集原稿について

年間スケジュールを提示し、余裕をもった運用を依頼した（なるべくメーカーへは頼らない）。

【検討事項】

・幹事会報告について

前回までは、学術部会での口頭報告であったが、今後は報告書をもって報告とすることとなった。

○庶務部

【報告事項】

・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成 24 年 5 月 31 日現在）

会員数 4,011 名

平成 24 年度賛助会員数 68 社

○会計部

【報告事項】

・平成 24 年 5 月の予算管理月報、他 3 表を作成し報告

・平成 24 年 5 月 31 日現在の会費収入状況報告

・平成 24 年 5 月の主な事業活動収支報告

支出：臨検啓発事業（会員受付 PC、バーコードリーダー、Office ソフト、委託費）

倫理高資質向および管理費 等

・平成 25 年度予算案策定スケジュールについて提案された

・内規および規約の改定について

会費規程、会計規程、旅費規程の見直しについては、会計部と調整・確認をすることを要請した。

○事務局

【活動事項】

総会書面評決票の集計

STI 委員委嘱状の発送

都臨技会員証の発行

・理事研修会について

平成 24 年 8 月 4 日（土）～5 日（日） 会場は都内で開催予定（検討中）

・事務所の夏期休暇および年末年始休暇について

夏期休暇 平成 24 年 8 月 13 日（月）～17 日（金）

年末年始休暇 平成 24 年 12 月 28 日（金）～平成 25 年 1 月 4 日（金）

3) 各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

・平成 24・25 年度編集委員名簿について、内容を確認。修正がある場合は大竹編集長まで連絡する。

・新編集委員へ年間予定について説明

議事録は、翌月 1 週目の月曜日までに編集部長、編集次長、編集長へ送ること。

特集・シリーズは入稿期限を守ること。

欠席する際は、極力代理をたてること。

研修会の講師に要旨を依頼する際は、講師依頼料に原稿料が含まれているので必ず原稿を書いていただくようお願いすること。

- ・平成 24 年 8 月号会誌について  
特集は血液，シリーズは SE である。  
入稿状況について報告があった。  
5 月号会誌に掲載した，特集の内容で一部修正箇所があった。訂正文を作成し，8 月号会誌に掲載する。
- ・平成 25 年 2 月号会誌について  
シリーズは，当初の予定（いろいろな現場で活躍する検査技師）通り行う。その後のテーマは，今後検討する。
- ・ホームページ委員会報告  
研究班のホームページ作成に関わる予算が支給された。各研究班は積極的に活用していただくように要望された。

#### ○生涯教育制度実行委員会

##### 【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（5 月）  
都臨技研修会 7 件 登録者数 600 名
- ・申告  
会場研修 2 件 登録者数 10 名

#### ○役員選出委員会

##### 【検討事項】

- ・新定款への対応  
公益法人移行スケジュールによると本年度 9 月に電子申請を予定し，2013 年度から公益法人となる見込み。  
新法人では代議員制を予定しており，代議員を会員 100 名に対し 1 名の割合で選ぶことになり，本年度中に約 40 名の選出が必要となる。  
代議員の選出について会長からの検討要請を受け，委員長より「最初の代議員の選任に係る規程」「選挙規則」の 2 つの規則案が提示され協議した。以下の事項が疑問点として挙げた。
  - a. 代議員は選出でなく選挙にて選定するべき
  - b. 選挙の実施には選挙管理委員会の設置が必要
  - c. 選挙規則も作成となる
  - d. 選挙規則はどの組織が作成するか
  - e. 役選委員会と選挙管理委員会の位置付け以上の確認事項について次回理事会で報告することとした。

#### ○表彰選考委員会

##### 【報告事項】

- ・表彰選考委員会の引き継ぎ申し送り事項について
- ・吉田前委員長，伊藤前事務局次長より前期表彰選考委員会の引き継ぎ申し送り。
- ・今期の委員が選出されていない地区があり今期の委員会詳細については次回委員会で決定していく。
- ・担当役割分担について  
委員長に高橋 秀治氏，副委員長に飯野 幸永氏を選出。  
その他の担当役割分担については委員長と副委員長に一任し次回委員会で決定。  
議事進行（議長）・議案書の作成：高橋委員長  
書記・議事録作成：地区選出委員のローテーション（東部→西部→南部→北部→中部→多摩）  
理事会報告書・委員会開催通知作成及び各種書類等の発送：事務局
- ・開催日は，第 1 週の火曜日（8 月休会，平成 25 年 1 月は第 2 週）とする。
- ・高橋委員長より，煩雑な公式文書等の作成等もあるので，吉田陞氏にオブザーバーとして参加をして頂きたいとの要望。毎回委員会の参加でなく，相談事項をメール等で可能な限りメールで行うこと

下田会長に検討を依頼する。

#### 【検討事項】

- ・前期表彰選考委員会の引き継ぎ申し送り事項の1つである後藤清 会員の名誉会員推薦について、表彰選考委員会の決定とし次回理事会で承認をもらう。
- ・叙勲等は、Ⅱ類2（病院、療養所、研究所等に20年以上従事した臨床検査技師、衛生検査技師等）のみが該当すると思われるので推薦に該当する候補者について早急に選定を開始する。
- ・各賞のひな型等の調査  
高橋委員長より、今期はある程度推薦する賞的を絞って福見秀雄賞、小島三郎記念技術賞、緒方富雄賞、東京都功労者表彰等を中心に推薦し確実に受賞者を出していきたいとの意見。
- ・都臨技約4000名の会員の中から表彰選考委員会だけで候補者を探すのは難しいので、再度、学術部・組織部にも協力体制をお願いする。
- ・臨床病理1級認定取得者のリストを作成する。
- ・緒方富雄賞について  
6月末が締め切りで2週間程度での書類作成が難しいとの指摘があり、次回に向け準備をすることとした。  
小松委員が調査し、今回もし間に合いそうな候補者がいれば推薦をする。
- ・役員歴等の経歴についてデータベースを早急に作成する。
- ・福見秀雄賞について  
前回の候補推薦者の書類を再整理し再度推薦する。（高橋委員長が候補者に再推薦について打診してみる）
- ・小島三郎記念技術賞について推薦候補を絞り検討する。

#### ○情報システム運営委員会

- ・前回委員会以降に更新した原稿の確認
- ・新規購入した研修会受付用PC 13台にウィルスチェックソフトのインストールと動作確認を行った。

#### ○学会企画委員会

- ・開催概要について  
会期：平成25年2月17日（日）  
会場：東医健保会館（信濃町）
- ・学会コンセプトについて  
小松学会長より本学会における開催コンセプトが以下のように提示された。  
後進の育成（若手の発表、知識・技術の継承）  
都臨技の公益性を示す（都民を対象としたイベントの計画）
- ・メインテーマについて  
事前の提出案を参考に討議した結果、「臨床検査の可能性」をメイン、もしくはサブテーマとして用いることを決定した。
- ・学会参加者数・参加費について
  - ①参加者数：目標400名（最低300名）
  - ②参加費：2,000円（学会各委員全員から参加費を徴収する）
  - ③実務委員：午前・午後で作業分担を割り振り、参加者数を増やす。
- ・特別企画について
  - ①特別講演：公開講演と技師向けの内容で2講演を準備（学会長を中心に講演者を検討）
  - ②研究班企画：学術研究班の一部に依頼
  - ③組織部企画：組織部フォーラムとして2時間程度
- ・演題発表について
  - ①目標数：50演題
  - ②発表形式：口演（発表6分、質疑応答3分）
  - ③学生演題：募集しない
  - ④募集案内：7月に案内できるよう準備を進める

- ⑤受付開始：未定
- ・公開講演について
  - 午後は大ホールを使用して実施する。
- ・メーカー協賛
  - ①ランチョンセミナー：3～4社に依頼する。（1社100,000円、弁当は金額を設定し各社で手配）  
時間は60分。開催会場配置については協賛社で抽選。
  - ②機器・試薬セミナー（仮称）：1社30分。金額は50,000円。会場は60名収容会議室。  
学会趣意書を作成しメーカーに協力依頼をかける。（蝶名林委員が作成）
  - ③パンフレット展示：セミナー協賛会社は無料。その他は有料とする。
- ・学会広報
  - ①ポスター：日大駿河台病院 西山会員に作成を依頼する。
  - ②ホームページ：高城実行委員長が作成を指示する。
  - ③都臨技会誌：8月号に学会公告が掲載できるように準備を進める。
- ・抄録集
  - 会誌2月号送付時に、学会抄録集として会員全員に配布できるように準備を進める。
- ・その他
  - ①学会責務の各担当者を配置した。
  - ②配布資料のタイムスケジュール案から、以降の作業内容を確認した。
  - ③会場毎のコマ割り案を中西委員が作成することとした。

#### ○STI 予防委員会

##### <STI 予防活動について>

- ・平成24年5月24日（木）私立安田学園高校にてSTI 予防教室開催

対象：第1学年（236名）男子のみ

時間：13:50～14:20（30分）

講師：福良・宮後

- ・講師トレーニング日程

6月は、5日・13日・19日にトレーニングを開催予定

- ・今後のSTI 予防教室開催予定

6月16日（土）	11:45～13:25	2年生（男女454名）	日大櫻丘高校
6月21日（木）	13:00～16:00	2年生（男女30名）	東京電子専門学校
7月6日（金）	13:00～13:50	1年生（男女別339名）	大森学園高校
7月11日（水）	時間未定	2年生（男子約250名）	安田学園高校
7月11日（水）	11:00～12:00	1年生（男女別）	都立芝商業高校
7月13日（金）	時間未定	女子	日大豊山女子高校
平成25年3月	時間未定	未定	都立練馬工業高校

### 3. 審議事項

#### ○庶務部

新入会員64名が提示され、承認された

#### ○組織部

東部地区幹事に水野美香会員（城東社会保険病院）が提案され、承認された

#### ○表彰選考委員会

表彰選考委員に西部地区 尾形隆夫会員（新渡戸文化短期大学臨床検査学科）が提案され、承認された

#### ○その他

前回理事会にて承認された組織運営規程の改定に伴い、下田会長より以下のように役職変更が提案され説明がなされた

- ・役職変更について (旧) (新)
- 高城常務理事 学術部長 兼 編集部長 → 学術部長
- 中西常務理事 学術次長 → 学会運営部長 兼 学術次長
- 大野理事 学術次長 → 学会運営次長 兼 学術次長
- 蝶名林理事 編集次長 兼 地区理事 → 学術次長 兼 地区理事
- ・常任委員について (情報システム運営委員会の廃止に伴う変更)
- 島田会員および市村会員は、事務局の常任委員に任命
- 島田会員は、学会運営部の常任委員に任命
- 栗田会員は、渉外部の常任委員に任命

#### 4. 共催許可願い書および特別講習会許可願い書について

- 一般検査研究班より特別講習会実施許可願い書が1件提出され、承認された
- 講演名：一般検査スキルアップ講習会 (認定一般検査技師更新のための指定講習会)
- 期 日：平成24年9月30日(日) 10:00～16:15
- 会 場：駿河台日本大学病院 3階講堂
- 講 師：小川 哲也 医師(他 2名)
- 埼玉県臨床検査技師会より共催許可願い書が1件提出され、承認された
- 講演名：第6回臨床化学検査研究班合同研修会 「臨床におけるアルブミン測定の意義」
- 期 日：平成24年7月14日(土) 14:00～17:00
- 会 場：東京都墨東病院 14階A講堂

#### 5. 後援および名義使用許可願い書について

- 特定非営利法人 超音波スクリーニングネットワークより後援および名義使用許可願い書が1件提出され、承認された
- 講演名：超音波スクリーニング研修講演会 2012 有明
- 期 日：平成24年12月8日(土) 9:25～17:00
- 会 場：ビックサイト T F Tホール 1000

平成24年6月20日(水)  
(社) 東京都臨床検査技師会

議 長 印  
(下田)

監 事 印  
(東海林)

監 事 印  
(遠藤)